

2 令和元年度の状況

(1)水産物

①取扱高及び収益状況

事項		令和元年度	平成30年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		4,493億6,813万円	4,699億6,819万円	95.62
卸売業務	数量	365,179トン	377,613トン	96.71
	金額	3,813億1,070万円	4,007億6,650万円	95.15
受託物品	数量	79,630トン	86,034トン	92.56
	金額	896億3,046万円	958億4,090万円	93.52
買付物品	数量	285,549トン	291,579トン	97.93
	金額	2,916億8,025万円	3,049億2,560万円	95.66
兼業業務	金額	680億5,743万円	692億170万円	98.35
売上総利益		212億8,759万円	219億1,963万円	97.12
受託販売手数料		49億2,756万円	52億6,922万円	93.52
買付販売利益		123億4,055万円	129億7,122万円	95.14
兼業業務利益		40億1,948万円	36億7,919万円	109.25
売上総利益率		4.74%	4.66%	
販売費及び一般管理費		208億2,310万円	212億4,918万円	97.99
営業利益		4億6,448万円	6億7,045万円	69.28
営業利益率		0.10%	0.14%	
経常利益		16億3,612万円	17億1,460万円	95.42
経常利益率		0.36%	0.36%	

水産物は、前年度と比較し、減収減益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量が減少し、販売単価も下落したため、総売上高は、206億円の減収となった。

売上総利益は、兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したため、全体では6億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費は縮減したものの、営業利益は2億円の減益、経常利益は1億円の減益となった。

②財務状況

事項	令和元年度	平成30年度	前期比(%)
総資産	969億5,392万円	1,078億9,524万円	89.86
負債	504億4,826万円	603億1,480万円	83.64
純資産	465億567万円	475億8,044万円	97.74
自己資本比率	47.97%	44.10%	
流動比率	161.39%	153.77%	

財務状況は、売掛金の減少等により総資産が109億円減少した。

純資産については、評価・換算差額等の減少により11億円減少したが、買掛金の減少等により負債が減少したため、自己資本比率は3.9ポイント上昇した。

流動比率は、流動負債の減少率が流動資産の減少率を上回ったため、7.6ポイント上昇した。

(2) 青果物

①取扱高及び収益状況

事項		令和元年度	平成30年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		5,233億9,142万円	5,373億7,921万円	97.40
卸売業務	数量	1,946,830トン	1,936,496トン	100.53
	金額	4,988億9,754万円	5,111億775万円	97.61
受託物品	数量	1,188,652トン	1,214,545トン	97.87
	金額	3,118億2,876万円	3,269億2,487万円	95.38
買付物品	数量	758,178トン	721,951トン	105.02
	金額	1,870億6,878万円	1,841億8,289万円	101.57
兼業業務	金額	244億9,388万円	262億7,146万円	93.23
売上総利益		358億3,347万円	367億9,047万円	97.40
受託販売手数料		252億4,931万円	264億6,779万円	95.40
買付販売利益		82億7,644万円	79億3,679万円	104.28
兼業業務利益		23億772万円	23億8,589万円	96.72
売上総利益率		6.85%	6.85%	
販売費及び一般管理費		351億570万円	366億7,867万円	95.71
営業利益		7億2,777万円	1億1,179万円	650.99
営業利益率		0.14%	0.02%	
経常利益		12億6,973万円	8億3,199万円	152.61
経常利益率		0.24%	0.15%	

青果物は、前年度と比較し、減収増益となった。

取扱数量は、買付物品が増加したものの、受託物品が減少し、野菜の売上単価も下落したため、総売上高は、140億円の減収となった。

売上総利益は、買付販売利益が増加したものの、受託販売手数料及び兼業業務利益が減少したため、全体で10億円の減益となった。

一方、販売費及び一般管理費が縮減し、営業利益は6億円の増益、経常利益は4億円の増益となった。

②財務状況

事項	令和元年度	平成30年度	前期比(%)
総資産	670億7,337万円	692億4,916万円	96.86
負債	174億8,209万円	197億5,878万円	88.48
純資産	495億9,128万円	494億9,038万円	100.20
自己資本比率	73.94%	71.47%	
流動比率	329.18%	285.22%	

財務状況は、預金の減少等により、総資産が22億円減少した。

純資産については、利益剰余金の増加等により1億円増加したことに加え、受託販売未払金の減少等により負債が減少したため、自己資本比率は2.5ポイント上昇した。

流動比率は、流動負債の減少率が流動資産の減少率を上回ったため、44.0ポイント上昇した。

(3)花き

①取扱高及び収益状況

事項		令和元年度	平成30年度	前期比(%)
総取扱金額(売上高)		766億966万円	807億5,655万円	94.86
卸売業務	数量	1,445,529千本	1,509,879千本	95.74
	金額	739億1,708万円	778億8,693万円	94.90
受託物品	数量	1,358,135千本	1,418,143千本	95.77
	金額	691億3,503万円	725億6,165万円	95.28
買付物品	数量	87,394千本	91,736千本	95.27
	金額	47億8,206万円	53億2,529万円	89.80
兼業業務	金額	26億9,258万円	28億6,962万円	93.83
売上総利益		74億8,767万円	78億4,864万円	95.40
受託販売手数料		66億5,650万円	69億9,002万円	95.23
買付販売利益		2億8,014万円	3億1,263万円	89.61
兼業業務利益		5億5,103万円	5億4,599万円	100.92
売上総利益率		9.77%	9.72%	
販売費及び一般管理費		75億4,383万円	77億5,954万円	97.22
営業利益		▲5,616万円	8,910万円	-
営業利益率		▲0.07%	0.11%	
経常利益		1億1,948万円	2億200万円	59.15
経常利益率		0.16%	0.25%	

花きは、前年度と比較し、減収減益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量が減少し、切花の売上単価も下落したため、総売上高は、41億円の減収となった。

売上総利益は、兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したため、全体で4億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費は縮減したものの、営業利益は1億円の減益、経常利益は1億円の減益となった。

②財務状況

事項	令和元年度	平成30年度	前期比(%)
総資産	182億7,482万円	200億2,418万円	91.26
負債	95億3,664万円	112億6,846万円	84.63
純資産	87億3,818万円	87億5,573万円	99.80
自己資本比率	47.82%	43.73%	
流動比率	183.43%	169.30%	

財務状況は、売掛金の減少等により、総資産は17億円減少した。

純資産については、前年度とほぼ同じであったが、受託販売未払金の減少等により負債が減少したため、自己資本比率は4.1ポイント上昇した。

流動比率は、流動負債の減少率が流動資産の減少率を上回ったため、14.1ポイント上昇した。

(4)各部門の比較

項目・取扱品目	水産物	青果物	花き	計
総取扱金額(売上高)	4,493億6,813万円	5,233億9,142万円	766億966万円	1兆493億6,921万円
売上総利益	212億8,759万円	358億3,347万円	74億8,767万円	646億872万円
売上総利益率	4.74%	6.85%	9.77%	6.16%
販売費及び一般管理費	208億2,310万円	351億570万円	75億4,383万円	634億7,263万円
営業利益	4億6,448万円	7億2,777万円	▲5,616万円	11億3,609万円
営業利益率	0.10%	0.14%	▲0.07%	0.11%
経常利益	16億3,612万円	12億6,973万円	1億1,948万円	30億2,533万円
経常利益率	0.36%	0.24%	0.16%	0.29%

※青果物は主たる取扱品目がつけ物・鳥卵である3社を除く。また、食肉を除く。

総取扱金額(売上高)は、青果物が5,234億円と最も大きい。次いで、水産物が4,494億円、花きが767億円となっている。

売上総利益率(粗利率)は、花きが9.77%、青果物が6.85%、水産物が4.74%、と花きが一番大きい。これは、総取扱金額(売上高)に占める受託販売の割合が94%を占め、受託販売手数料率も花きが一番高いことによる。

営業利益率は、各取扱品目とも、売上総利益が減少したことにより、前年度より低下している。

経常利益率は各取扱品目において営業外損益がプラスであることから、営業利益率に比して高くなっている。

<参考>

1 営業利益率

営業利益とは、会社が本業から上げる利益のこと。売上から、原材料費や仕入れ費用、販売費及び一般管理費などの本業に関わる費用を差し引いて求めたものが営業利益である。営業利益率は、企業の収益力を見るための指標であり、売上のうちどのくらいが営業利益になるのかを見るもの。

$$\text{営業利益率} = \text{営業利益} / \text{総売上高 (受託+買付+兼業)} \times 100 (\%)$$

2 経常利益率

経常利益とは、営業利益に受取利息や支払利息などの経常的に発生する本業以外の損益を加減して求めたものである。営業利益と同様、企業の収益力を見る指標である。

$$\text{経常利益率} = \text{経常利益} / \text{総売上高 (受託+買付+兼業)} \times 100 (\%)$$

3 取扱品目別販売単価の推移(消費税込み)

4 利益率の推移

単位:円

取扱品目	元年度	30年度	29年度	
水産物	1,129	1,147	1,115	
青果物	野菜	236	246	260
	果実	433	433	418
花き	切花	66	67	65
	鉢物	584	565	542

単位:%

取扱品目	水産物		青果物		花き	
	営業	経常	営業	経常	営業	経常
元年度	0.10	0.36	0.14	0.24	▲0.07	0.16
30年度	0.14	0.36	0.02	0.15	0.11	0.25
29年度	0.17	0.46	0.40	0.53	0.13	0.28

注1 市場統計情報の部類別平均価格による

2 水産、青果の販売単価は1kgあたり

3 花きの販売単価は切花は本、鉢物は鉢あたり